

【助産管理】

科目名	助産管理学	講師名	① 教育主事 (16) ② 非常勤講師 (4) ③ 岡山医療センター看護師 A (6) ④ 岡山医療センター看護師 B (4)	学年	1	履修期	第1学期～ 第2学期
単位	2 単位						
時間数	30 時間						
講師実務経験	講師①助産師・看護管理者としての実務経験あり						
授業概要	助産業務の管理および病院・助産所における管理の基本およびリスクマネジメント・災害時の助産師の役割を理解する。						
授業科目目標	1. 助産管理の基本を理解し、場に応じた助産業務管理の特徴が理解できる。 2. 周産期医療システムが理解できる。 3. 周産期における医療安全のための管理が理解できる。 4. 災害対策と母子への支援活動が理解できる。						
授業内容	講師① 16 時間 (試験 1H 含む) 第 1 回 1. 助産管理の実際 2. 周産期における医療安全 1) 助産管理の基本 2) 助産業務管理の過程 3) 助産業務と関係法規 第 2 回 4) 場に応じた助産業務管理の特徴 (概論) 第 3 回 5) 助産業務管理の実際 3H 講師② 4 時間 第 5 回 6) 助産所の管理・運営 講師③ 6 時間 第 6 回 7) 産科棟の管理 第 7 回 8) 外来の管理、院内助産・助産外来 第 8 回 9) 医療安全の管理体制と医療事故防止 講師④ 4 時間 第 9 回 10) NICU の管理、医療安全 第 10 回 11) NICU の課題、地域連携、多職種との協働 講師① 第 11～13 回 3. 周産期医療システム 講師② 第 14 回 4. 災害対策と母子への支援活動 終了試験 1H						講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義
評価方法	筆記試験 講師① 70 点 講師② 10 点 講師③ 10 点 講師④ 10 点						
テキスト	助産学講座 9 地域母子保健・国際母子保健 医学書院 助産学講座 10 助産管理 医学書院 助産師業務要覧Ⅰ「基礎編」 日本看護協会 助産師業務要覧Ⅱ「実践編」 日本看護協会 助産業務ガイドライン						
参考書	授業中に適宜提示する						
学生へのメッセージ	助産管理について、組織論から助産業務の管理の基本的な考え方から実際までを実践経験のある講師陣から学びます。グループワークも交え、具体的な管理をできるだけイメージできるよう展開します。						